

知の探検

チナダンゲン

〇〇〇〇〇〇〇〇 (13)

植物に生えた毛、導管の一部から生葉の種類を見極める。遺伝子や成分で生葉を分析する新手法が広まる中で、光学顕微鏡で観察する地道な研究をしているのが岐阜薬科大(岐阜市)の酒井英二准教授(四六)＝葉草園研究室＝だ。

光学顕微鏡のモニターで、映し出された細胞。組織の違いを調べ、メモする。機械による遺伝子分析や成分分析ではない伝統的な手法で、生葉の種を特定する。人間ならではの観察力がものをいう。成果が出たのは長年手掛けた下剤成分センノ

岐阜薬科大葉草園研究室

顕微鏡観察 地道に成果

シドを含んだセンナの研 品ではなく、食品にも使 葉や葉軸の部分はセンノ シドを多く含むため、医 薬品にしか使っていない。 ずかにセンノシ

シドを含んだセンナの研 品ではなく、食品にも使 葉や葉軸の部分はセンノ シドを多く含むため、医 薬品にしか使っていない。 ずかにセンノシ

その際、メーカーに専門 知識がないために、葉や 葉軸が材料に混じって、 口にした人が下痢を起こ 葉や葉軸と茎を見分け 葉や葉軸と茎を見分け

その際、メーカーに専門 知識がないために、葉や 葉軸が材料に混じって、 口にした人が下痢を起こ 葉や葉軸と茎を見分け 葉や葉軸と茎を見分け

組織の違いを書き留めて いた。辛抱強い研究の 結果、粉末に残る毛が多 いことなどをセンナの葉 軸にしかない特徴とし て、粉末の特定法を確立 し、都道府県の指導につ なげた。その結果、現在 では有害なお茶は少なくな った。

組織の違いを書き留めて いた。辛抱強い研究の 結果、粉末に残る毛が多 いことなどをセンナの葉 軸にしかない特徴とし て、粉末の特定法を確立 し、都道府県の指導につ なげた。その結果、現在 では有害なお茶は少なくな った。

酒井准教授は「ダイエ ットは女性の永遠のテー マ。業者にごまかしは効

酒井准教授は「ダイエ ットは女性の永遠のテー マ。業者にごまかしは効

子分析は使えなかった。 センノシドは分量は違っ が、茎にも含まれている し遺伝子は葉も茎も同じ だからだ。そこで酒井准 教授らの出番となった。 国民生活センターの依 頼を受け、二十―三十種 のダイエツト茶を調査。 顕微鏡で地道に毛や道管

子分析は使えなかった。 センノシドは分量は違っ が、茎にも含まれている し遺伝子は葉も茎も同じ だからだ。そこで酒井准 教授らの出番となった。 国民生活センターの依 頼を受け、二十―三十種 のダイエツト茶を調査。 顕微鏡で地道に毛や道管

(石井宏樹)



① 光学顕微鏡で生葉を調べる酒井准教授＝岐阜市の岐阜薬科大葉草園研究室で
② 葉草園の温室内で栽培されている葉草＝同市椿洞で

岐阜薬科大葉草園研究室 1978年に製薬研究所に植物生態学研究施設がつくられ、81年に前身の植物生態学研究室が設置された。88年に葉草園研究室に名称変更。岐阜市椿洞の葉草園を管理しながら、生葉の鑑定や研究、葉草の知識を広めている。葉草園は広さ9202平方メートルで、葉草約700種類を栽培し、葉草の遺伝子を保存している。ガイドボランティアが手伝っており、4月10日には予約すれば見学もできる。